

関係市町村首長

各位

隣保館館長

全国隣保館連絡協議会
会長 川崎 正明
(公印省略)

「今後隣保館が取り組むべき地域福祉課題を明らかにする実態調査」
にかかるご協力について(依頼)

謹啓 貴職におかれましては、日頃から全隣協活動に対し、ご理解とご協力をたまわり、心より感謝申し上げます。

さて、厚生労働省が実施する「平成23年度社会福祉推進事業」の採択団体が、2011(平成23)年10月17日に決定しました。

この事業は、厚生労働省(地域福祉課)が、『社会福祉事業の発展改善に寄与すること』を目的に募集し、採択された事業に補助金をつけるというものです。今年も昨年に引き続き、対象事業の一つに隣保館に関する事業が明記され、(社会福祉法人)大阪府総合福祉協会が事業申請を行い、採択されました。(全隣協は、任意団体のため事業申請者となれません。)

直接、全隣協に関係する具体事業の一つが、本依頼の「今後隣保館が取り組むべき地域福祉課題を明らかにする実態調査(各館を通じた行政データの収集)」で、調査内容と調査結果の分析等については、調査委員会(メンバーは別添要綱/全隣協から川崎会長以下7名が参加)で検討しますが、調査票の配布から回収までの作業を全隣協が行なうこととなりました。

この調査に全隣協が全力をあげて取り組む趣旨は、「隣保館運営費補助金制度存続」の取り組みの一つとして、隣保館の有用性や存在意義を対外的にも広くアピールし位置づけることはもとより、隣保館を取り巻く現状について各種行政データを収集・駆使することで、残された課題や今後取り組むべき課題等を見出すための基礎データとして活用したいと考えているからです。

したがって、回収は100%を目指しますので、全隣保館の協力を要請します。(ご返送期限:2012年1月31日)

どうか、本取り組みの趣旨をご賢察いただき、別添の調査票(報告様式)に基づきご回答いただきますようお願い申し上げます。また、調査票(報告様式)には隣保館名を明記させていただいています。なお、ご回答に際し、不明や疑問のお問い合わせは、下記の問い合わせ先へいただきますようお願いいたします。

※調査票(報告様式)原本のご返送には、同封しています返信用封筒をご利用ください。

謹白

＜同封内容＞

- | | | | |
|--------------------------------|--------|---------|----|
| ①今後隣保館が取り組むべき地域福祉課題を明らかにする実態調査 | 「報告様式」 | 1部 | |
| ② | 同 上 | 「調査要綱」 | 1部 |
| ③ | 同 上 | 「実施要領」 | 1部 |
| ④ | 同 上 | 「調査の手順」 | 1部 |

調査内容に関する問い合わせ先

○調査委員会事務局/(社会福祉法人)大阪府総合福祉協会(担当:伊藤)

〒552-0001 大阪府大阪市港区波除4-1-37 HRCビル8階

電話(06)6581-8674 / FAX(06)6581-8675

調査票(報告様式)の送付先

全国隣保館連絡協議会事務局(担当:中川・中本)

〒542-0012 大阪府大阪市中央区谷町7-4-15 大阪府社会福祉会館内3階

電話(06)6711-0356 / FAX(06)6711-0357

解 明 へ

概要も確認

第2回中央委

ノルが取りにメロ守ノロ
アを「男女同権委員会」が
性差別で違法と勧告
23日(水)玄葉外相が尖閣衝突
の再発防止へ実務者協議を
と中国・温首相らに提案
東京・新宿で大学生100人
が就職活動のあり方を批判
しデモ
24日(木)「日米地位協定」の
運営見直し米国人軍属の裁
判が日本で可能にと外務省
の一部の加工品に限定し日
本からの食品輸入再開と中
国政府
25日(金)放射性物質で汚染さ
れた県有地の土壌を除染す
る方針を策定と千葉県。都
道府県レベルでは初
幼保
一体化に「幼稚園向け私学
助成を残すのは当然」と小
宮山厚生相
26日(土)細野原発相が高速増
殖炉「もんじゅ」を視察、廃
炉を含めた検討必要と
米
・アイオワ州で新種の豚イン
フルエンザに3人が感染
27日(日)大阪府知事・市長選
で「大阪維新の会」が圧勝
政府主催の社会保障と税
の一体化に関するはじめて
のシンポが福岡市で。消費
税増税に参加者から不満



▶差別事件の実態を把握し、全国的にとりくみを
すすめるよう確認した

第2回中央委員会を11月
21日午後、大阪・HRCビ
ルでひらき、中央委員など
59人が参加した。「救済法」
制定や狭山の闘い、11月に
発覚した1万件以上の戸
籍謄本等不正取得事件をは
じめ、当面する多くの課題
への闘いの方向を提案・議
論し、承認した。

部落解放・人権政策確立
のとりくみでは、松岡書記
長が、部落解放・人権政策
確立要求第1次中央集会
(11月30日午後、参議院議
員会館)で提案する基調
「人権侵害救済法」制定
の取り組みと今後の課題」
を説き、確認。法務省政務

三役「基本方針」を軸に闘
いの展望を拓き、民主党政
権のもと、超党派の合意に
もつづき法制定を実現する
ため、政府・各政党・各国
会議員への強力な要請行動
の展開などを誓いあった。
狭山再審闘争では、松岡
書記長が、「秘密の暴露」
とされる証拠にふみこんで
裁判長が検察官に証拠開示
の検討を促すなど、この間
の3者協議での着実な前進
を報告。第9回3者協議に
向け、12月1日の市民集会
「国会請願行進」「公正な
証拠開示の法制化を求める
請願署名」提出を成功さ
せ、証拠開示・可視化の法
制化、狭山再審へ大きな世
論をつくらうと確認した。

差別糾弾闘争では、11月
の司法書士らの逮捕で発覚
した大がかりな戸籍等不正
取得事件を片岡中執が。修
学旅行説明会で部落を忌避
すべき対象と教師が3年生
全員に印象つけた中学校差
別事件を池田中執が。それ
ぞれ経過ととりくみ方向を
提案、承認した。

今回の戸籍等不正取得事
件は、都内の「プライム総
合法務事務所」が、司法書
士の職務上請求書を約2万
枚も偽造して不正取得をく
りかえしていたもの。みず
からの職員も被害を受けた
愛知県警が11月11日、都内
の司法書士ら3人と、横浜
市内の探偵会社代表1人、
京都府八幡市内のグラフィ
ックデザイナー1人の計5
人を逮捕してマスコミ報道
され、判明した。不正取得
は1万件以上あり、背後に
大きなネットワークが予想
される。今後、各都府県連
・支部での情報公開請求な
ど、不正取得の全容解明と
依頼の実態解明をすすめる、
また、司法書士会や探偵業
界への厳しい行政指導、「探
偵業法」改正、本人通知制
度の全国的普及などにとり
くむことを確認した。

第69回全国大会の開催要
綱・概要、全国水平社創立
90周年記念事業企画案は、
松岡書記長が提案、承認し
た。第69回全国大会は3月
30、31日、大阪府立労働セ
ンターエルシアターで。全
水90周年記念集会是3月3
日午後1時から京都府会館第
1ホールで。記念レセプシ
ョンは3月3日午後5時30
分から京都ホテルオークラ

3ページ

12月18日

204

12.5.3

25462

人、とを、ま、地、の、倒、れ、の、蜘蛛、の、物、か、し、男、の、し、一、心、も、い、は、安、ぐ、る、の、村、の、それ、

人む光

ば、く、ラ、を、の、ぞ、く、監督、の、禁、欲、であ、る、。この、悲、劇、は、人、間、の、想、像、の、臨、界、を、こ、え、て、い、る、から、だ、。

。お、ぞ、ま、し、い、の、は、この、風、景、が、世、界、史、上、に、刻、ま、れ、た、家の、異、端、の、せん、滅、という、壺、行、に、通、じ、て、い、る、こ、と、だ、。ス、ター、リン、の、肅、清、と、強、制、移、を、積、住、。反、共、国、家、・韓、国、で、の、共、産、主、義、者、(と、さ、れ、た、者、の)、セ、虐、殺、……。そ、し、て、後、見、国、の、中、国、同、様、北、朝、鮮、で、は、い、ま、も、自、由、を、求、め、る、者、へ、の、弾、圧、を、多、者、を、罵、倒、す、る、常、套、句、は、反、動、だ、が、で、は、人、間、の、進、



▲政治犯たちの記憶がフィルムに焼き付けられる。短編小説集『夾辺溝の記録』(楊頭恵)を元に、生存者への聞き取りで肉付けしていった。中国での上映は禁止されている

歩、とは何なのか。裏切りをくり返し、軀の山を築き続ける人間にそもそも「反動」などあり得るのか？

だが、この絶望を前にしてなお監督は、希望を描き出そうとする。死に別れた夫の亡骸を半狂乱になって探す妻に、生前の友人が示す思いやり。栄養失調で動けなくなった師匠を思う弟子……。黄土色の大地から掘り起こされた人間性は、暗い壕のなかに差し込む光である。それこそが国家に排除され死んでいった者たちの尊厳の回復、「映画」という追悼なのだろう。そして「祖国」とは、このような死を強いられた者たちからこそ展望されねばならないのだ。

中村 一成

(ジャーナリスト)

一言歌

監督

ワン・ビン

2階からのつづき

でひろく。

東日本大震災復興支援のとてくみは片岡中執が提案。被災地が冬を迎えるなか、受け入れ先を確保し次第、衣類や毛布などを募集することを報告。各地からの被災地へのスタディツアーの計画・実施もよびかけ、承認した。

生活労働運動部のとりくみは谷元書記次長が提案。全隣協と(社)大阪府総合福祉協会が協働し、12月頃から厚労省事業を活用した実態調査(今年度は「行政データ」を活用した第1次実態調査、来年度は地区住民アンケート調査(第2次実態調査))にとりくむことから、都府県、市町村、隣保館への調査協力の働きかけなどを訴え、承認した。

部落女性アンケート調査報告会は岸田副委員長が提案。鳥取全女(05年)でのアンケート調査を皮切りに、この間、各府県連で実

施されたアンケート調査の報告書をもちより、12月3日午後1時から、大阪・HRCビルで報告会をひろくことを確認した。

「在特会」差別街宣裁判を辻本中執が提案し、承認。奈良地裁での第2回口頭弁論は12月19日午後3時からひろかれる予定。

「週刊新潮」「週刊文春」への抗議文は松岡書記長が提案し、承認(抗議文は前号2ページに既報)。

「世界人権宣言」63周年記念集会は松岡書記長が提案し承認。東京集会は12月6日、日本教育会館で。大阪集会は12月7日、大阪府立男女共同参画・青少年センターホールでひろく。

中央委員、中央会計監査委員の補充は議長提案し承認。解放新聞社の10年度決算、11年度予算は吉田財務委員長が提案し承認した。

中央委の開会あいさつは岸田副委員長がおこない、議長には山口尚晃委員(岐阜)を選出。本部代表あいさつのなか、組坂委員長は、最大の山場を迎える「救済法」制定、狭山再審に全力で闘い、全国水平社創立90周年を勝利のうちに迎える決意を表明した。閉会では大野副委員長があいさつし、組坂委員長の音頭で団結がんばろうをした。

中央委員の補充

櫻井 正之(群馬)
藤本 義男(群馬)

中央会計監査委員の補充

平井 正則(群馬)

狭山再審、「救済法」 制定へ闘いぬこう